

関係性のビジネスとしての都市ビジネスのデザイン

研究の概要

都市ビジネスについて「関係性のビジネス」（関係が本質的要素であり、関係の結果として価値がつくり出されるビジネス）という視点から研究しています。

前世紀では、大企業・大工場が台頭しビジネスの中心となりました。その一方で、かつてビジネスの場であった都市は、消費の場、生活の場へと変化していきました。私は、このことが今日の都市（特に地方都市）の衰退をもたらしたのではないかと考えています。したがって、都市や地方の復権のためには、都市がビジネスの場として活性化することが重要と考えます。もちろん、衰退している地方都市でのビジネスは大きな困難を伴いますが、さまざまな主体が関係しあうビジネスがつくれ、それらがさらに関係をつくり出しビジネスをつくり出すという自律的で再帰的なプロセスが重要と考えています。また、今日の情報化は、このことを推進できるのではないかと考えます。このような都市ビジネスのデザインについて研究を進めています。

研究の特徴

具体的な都市ビジネスをデザインし、提案することをベースとして研究を進めています。その際、ビジネスデザインのさまざまな方法論（モデル・プロセス・手法など）から対象問題に適したものを選択し、あるいは新しくつくり出して、ビジネスのデザインに適用しています。ビジネスデザインの方法論はさまざまですが、最近ではアート思考的なアプローチに注目していて、それが関係性のビジネスと親和性が高いと考えています。最終的には関係性のビジネスについて方法論や教育メソッドの提案を目指しています。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

2015年ころから、和歌山市内のまちづくり会社と連携し、ゼミナールの学生などにも協力してもらって、市内のフィールドワークや、まちづくり会社に対するビジネスの提案などを行っています。

研究者からのメッセージ

現在はビジネスモデルのデザインについて研究していますが、それ以前は、社会システムや社会情報を、さらに以前は都市計画を勉強してきました。これまでの知識や経験を活かして取り組みたいと考えています。

(<https://web.wakayama-u.ac.jp/~makino/>)

研究分野： ビジネスモデル，システムデザイン，都市ビジネス

研究者の所属部局・職位・氏名： 和歌山大学経済学部 経済学科・教授・牧野真也

本件に関するお問い合わせ： liaison@ml.wakayama-u.ac.jp